

学年通信

吹田東高等学校 46期生

(第2学年) 11月号②

2020年修学旅行無事終了！ —46期担任団より—

「ほっとした、でも行ってよかった」率直な感想です。今年度がスタートして、行くべきかどうか、行き先を変えるのかなど、本当にたくさんの話し合いをしてきました。みんなも行けるのか不安になりながらも、健康管理や、それぞれの活動の準備など一人ひとりがしっかりと向き合えた「修学旅行」になったと思います。

今回のことで改めて、学校行事とは学校(先生)から与えられるものではなく、**生徒自身が作り上げていくもの**であるであり、そのために学校の先生や旅行会社の方々、現地の方々、**たくさんの人に支えられているのだ**と実感したと思います。

「修学旅行」以外にも学校行事はあります。実施できることに感謝し、サポートしてくださっている方々に感謝し、生徒一人ひとりがしっかりと向き合い、**みんなの力でよりよいものに作り上げてもらいたい**と思います。(1組担任)

修学旅行、いい思い出になりましたか?大人になっても、楽しかったなと思いをはせられるような修学旅行だったらいいと思います。

修学旅行中は**みんなのいいところ**を見ることができました。学年レクを盛り上げようと頑張った人、友達が困っているのを他人事にせず助けに動いた人、クラスのために率先して声掛けをした人、などなど。みんなの何気ない言葉や行動が、結果として、いい修学旅行に結びついたと感じています。

来年はまた、体育祭、文化祭があります。高校生活は光陰矢の如し。**貴重な時間を無為に送らず、学校生活を精一杯、楽しんでください。**(2組担任)

無事に日々過ごすことは当たり前のように当たり前ではありません。どんな成功も全て心身の健康あってこそです。

今回の修学旅行では君たちはもちろん、ホテルの人やファームビジットの人、ガイドさん、先生…関わる全ての人の「**他人の健康を思う気持ち**」の積み重ねが成功に導いてくれました。

コロナは私たちに不自由を強いてはいますが、半面で**今まで見えなかった優しさ**に気づかせてくれていると、改めて感じた修学旅行でした。(3組担任)

「ひとり旅のすすめ」

私にとってこれが9回目の修学旅行。**病人がでなかったのは初めての**こと。マスクと手指消毒、そして**みんなの健康管理**のおかげだね。時間を守って、お互いのことを気遣いながら、300人以上で行く旅行は、みんなにとっても私にとってもこれで最後。今度は是非、**ひとり旅を経験してほしい**。他人が計画する旅行ではなく、自分で計画を立て、自分で判断し、自分で自分を管理するひとり旅。あなたを成長させること間違いなし。高校卒業後、進路が決まったご褒美に、自分へのプレゼントとして、是非考えてみてください。(4組担任)

「みんなが無事に行って無事に帰ってくる！」

という大きな目標を達成できましたね!拍手です!

1日3回、一斉に体温計の音が鳴り、特別な行動でしたが、これもこれで記憶に残るかもしれないですね。

やむを得ない様々な変更はありましたが、それぞれが、**自分や周りの人のことを大切に思いながら、楽しみ、いろいろ学んで絆を深めた4日間**でした。**お互いの新たな発見**もたくさんあったと思います。残りの半分の高校生活も、楽しみながらがんばっていきましょう!(5組担任)

私たち担任団はいろいろな思いをもち、46期生が入学する前に行き先を北海道に決めました。当初予定していた行程から大きく変更することになり、とても残念に思っていました。修学旅行が終わった今思うことは「**当初予定していた修学旅行よりもずっと良い修学旅行になった**」ということです。1日目、クラス単位で自由行動をし、クラスの仲が深まりました。私自身、6組のみんなと過ごすことができとても楽しかったです!3日目の夜の学年レクでは今まで見たことなかったみんなの新たな一面をたくさん見られた気がします。こういう環境でも、**できることに目を向け工夫することで物事はいくらでも楽しくなる**、ということを私自身実感しました。高校生活もいよいよ折り返しに差し掛かっています。**チャレンジ精神**を忘れず、さらに濃い思い出を作りつつ、自己実現に向けて頑張っていきましょう。私たち46期担任団はいつも味方ですよ。(6組担任)

私にとって、12回目で、恐らく人生最後の修学旅行引率でした。**これまで一番怒鳴らず、心穏やかに過ごすことのできた修学旅行だった**と思います。それは吹田東高校2年7組の諸君が、担任の事前注意をよく聞いて、意識的に行動してくれたおかげだと思います。

集合時間をしっかり守ることは団体行動の基本であり、全員が気持ちよく旅行を楽しむためには、何よりも必要なことですが、その点7組の諸君の集合は見事でした。それが最も端的に表れたのは、小樽での自由行動後の集合でした。私が、小樽へ行くのは3回目でしたが、これまで時刻通りに集合できたことはありませんでしたが、今回はぴったり13時に全員が集合できたことに凄く感動しました。本当にバスに乗り遅れる人がいなくてよかったね。(7組担任)

たくさんの制限や不自由、変更があった中で、それでも皆さんが笑顔で無事過ごしてくれたことを何よりうれしく思います。

長い時間を一緒に過ごすことで、同級生の新たな一面を見られたと思いますが、**同じようにあなたの違う一面も皆に伝わった**と思います。自分はどうの一面を見せていたか、どんなふうに集団生活を過ごしたか、一度振り返ってみてください。

2年生の担任としては、皆さんの知らなかった良い面や輝きをたくさん見られました。ルールを守ったり、優しく気遣ったり、普段は見えにくいそんな良さが温かく感じられました。46期生はすばらしいですね。(8組担任)

46期生のみなさんは、コロナ禍の下、これまでにない修学旅行を経験しました。

「しおり」の中の何気ない「ことば」も、安全に、しかもできるだけ楽しくてためになる修学旅行にするために、大変な時間と労力を費やした結果です。この修学旅行の**引率15名の先生方、5名の旅行業者添乗員の方々**、期間中、常に気を配っていただいた**2名の看護師さん**、いい写真を撮ろうと常に皆さんの笑顔を追いかけた**2名のカメラマンさん**、北海道の**農家・酪農家の方々**、それから、自宅で協力していただいた**保護者のみなさん**、そのほかにも多くの方々の協力で、無事修学旅行を終えることができました。

この修学旅行のこと、特に「**よかったこと**」を、**しっかりと記憶にとどめておいてください**。「よい記憶」をとどめる努力が、いつか、どこかで、必ず自分を支えてくれます。(学年主任)

保護者の皆様へ

予定通り実施するかどうか、難しい判断を何回も迫られた修学旅行でしたが、できるかぎりの感染症対策を行い、参加者全員が、無事に帰ってくることができました。このことは、長期間にわたるご家庭での協力なしには実現できないことでした。ありがとうございました。

修学旅行期間中の活動については、「吹田東高校HP」に報告がありますのでぜひご覧ください。

高校生活も後半です。お子様の進路について、受験料や学費の件も含めて、ご家庭でご相談ください。

(今後の予定)

12月4日(金)～12月10日(木) 二学期末考査

